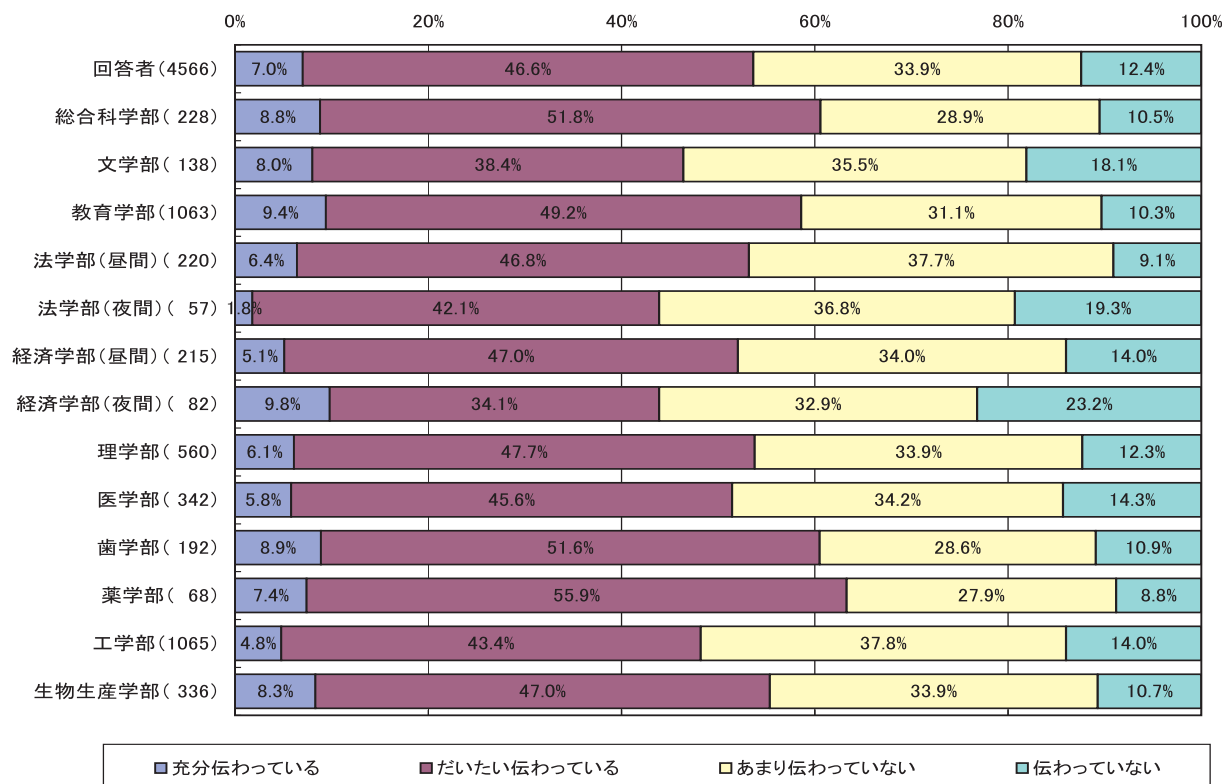


2. 教育や教育環境について

問18 大学の教育理念や方針の保護者への伝わり方

「充分伝わっている」「だいたい伝わっている」と回答したのは54%であった。「伝わっていない」と回答したのは12%にとどまるが、「伝わっていない」という回答者がやや多いのは文学部と、法学部と経済学部の間主コースである。

問18 本学の教育理念や教育方針は、あなたの保護者にも充分に伝わっていると思いますか。



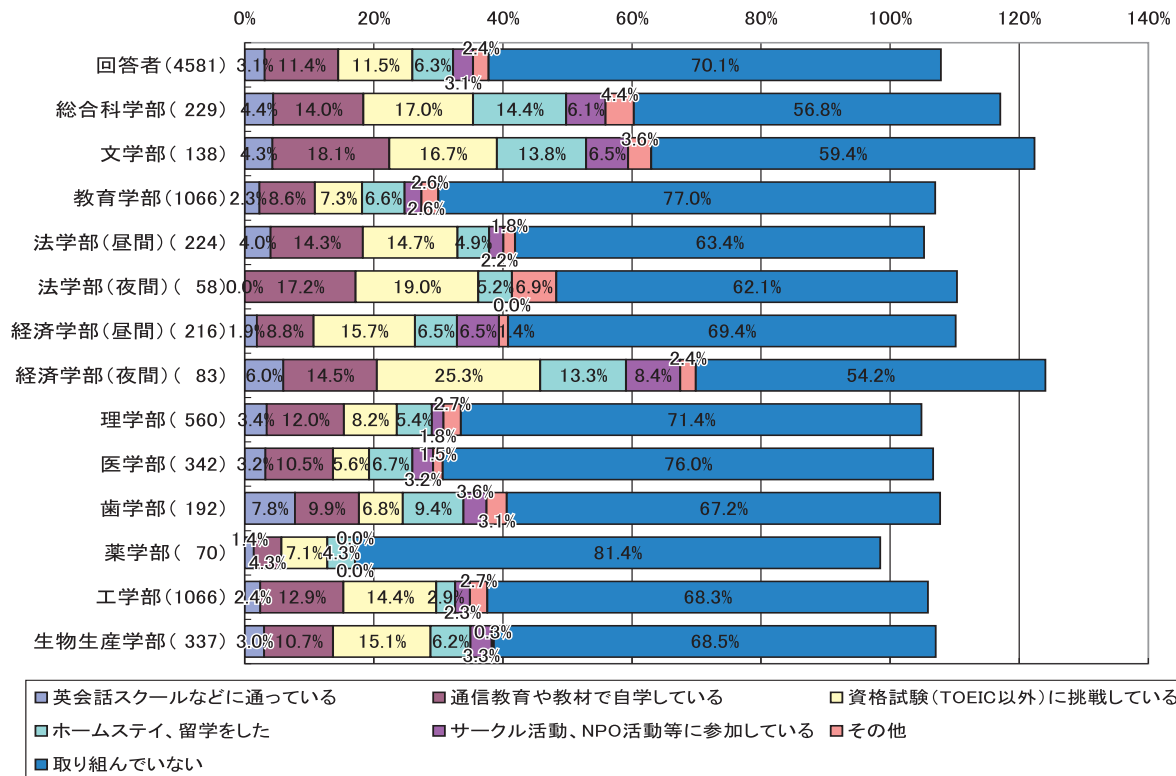
問19 授業以外での英語やほかの外国語に対する取り組み

まず、授業以外では取り組んでいないと回答したのは全体で70%であった。3人に1人は授業外でも何らかの語学の学習に取り組んでいる。授業以外で相対的に多く取り組まれているのは、資格試験 (TOEIC 以外) への挑戦 (12%)、通信教育や教材で自学している (11%)、ホームステイ・留学をした (6%) である。

資格試験 (TOEIC 以外) への挑戦者は経済学部夜間主コース (25%)、総合科学部 (17%)、文学部 (17%) の順に多く、通信教育や教材で自学している者は文学部 (18%)、法学部夜間主コース (17%)、経済学部夜間主コース (15%)、法学部 (14%) の順に多い。

ホームステイ・留学をした者は、総合科学部 (14%)、文学部 (14%)、経済学部夜間主コース (13%) の順になっている。

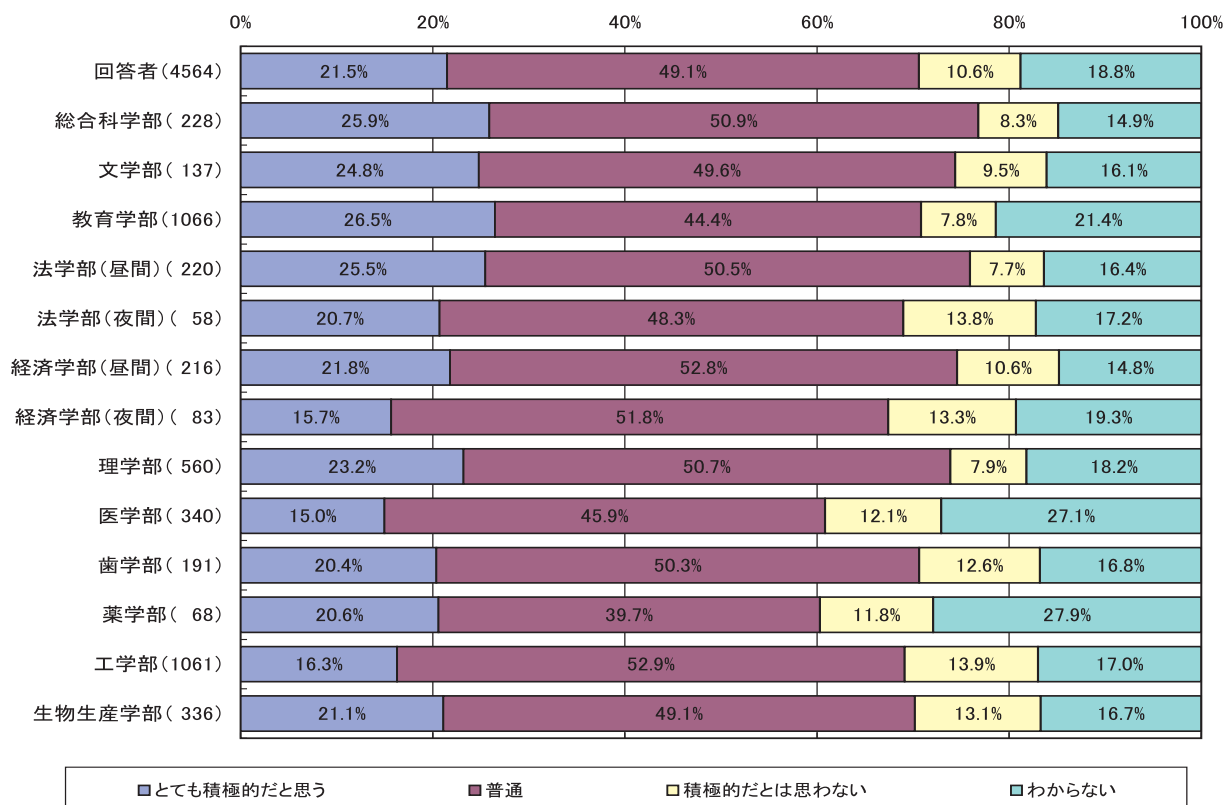
問19 あなたは、授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますか。
(複数回答可)



問20 国際化に対する大学の対応

「とても積極的だと思う」と回答したのは22%、「普通」と回答したのは49%だった。ただし「積極的だと思わない」は11%にとどまり、むしろ「わからない」が19%と多い。

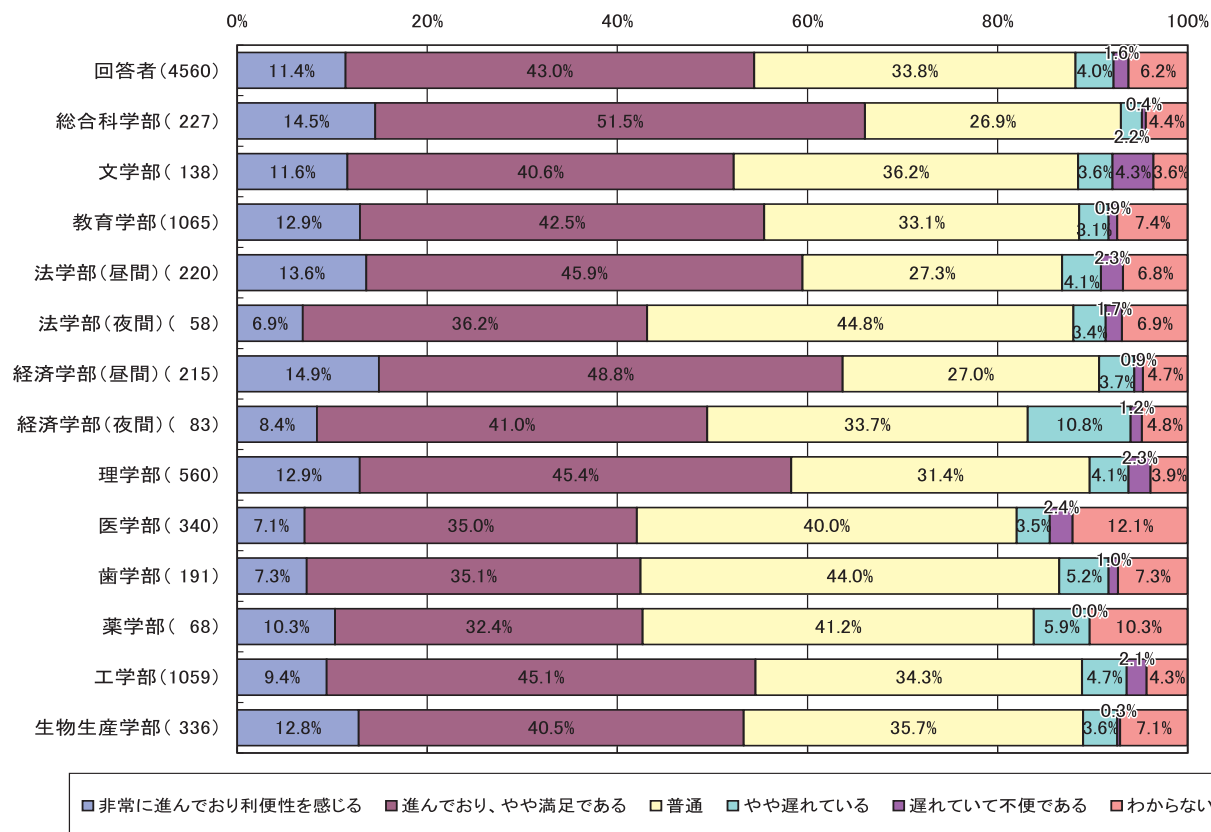
問20 本学は国際化への対応について、積極的だと思いますか。



問21 情報化に対する大学の対応

「非常に進んでおり利便性を感じる」「進んでおり、やや満足である」と回答したのは54%、「普通」と回答したのは34%だった。「やや遅れている」「遅れていて不便である」は6%にとどまった。

問21 本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、あなたはどのように感じていますか。



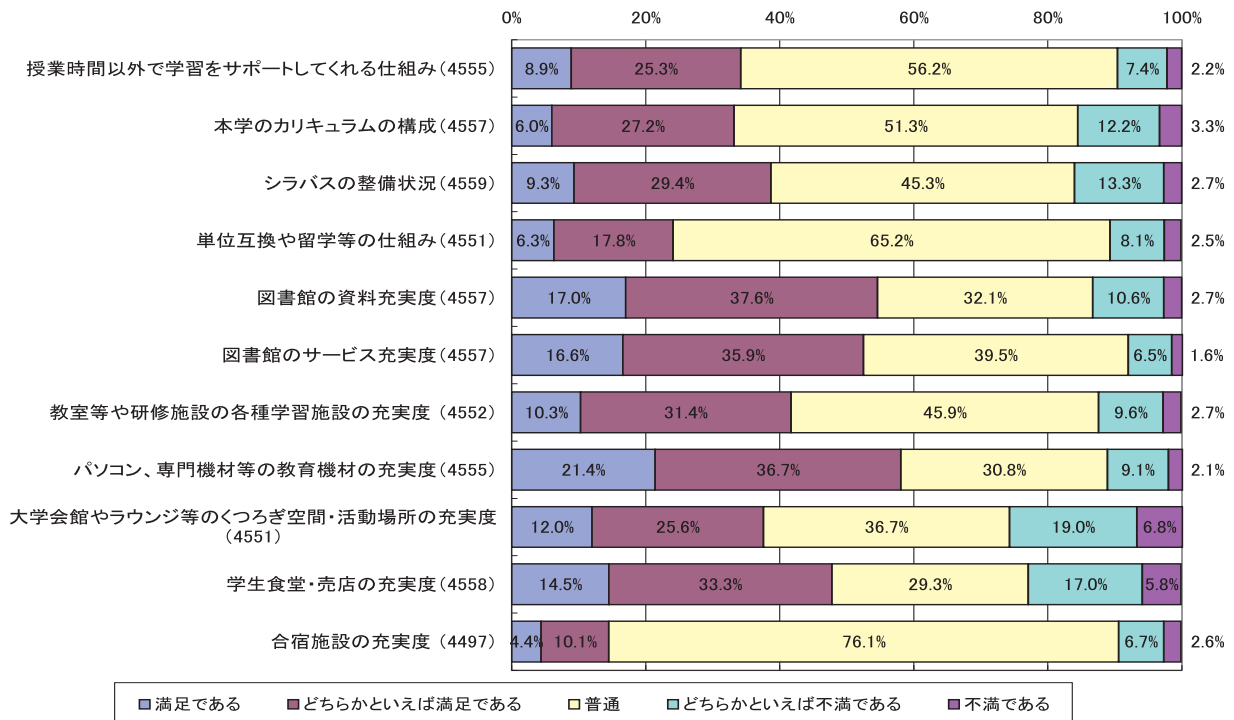
問22 学習や各種施設に対する満足度

「満足である」「どちらかといえば満足である」と回答したのは、授業時間以外で学習をサポートしてくれる仕組みについては34%、カリキュラムの構成については33%、シラバスの整備状況については39%、単位互換や留学等の仕組みについては24%、図書館の資料充実度については54%、図書館のサービス充実度については55%、学習施設の充実度については42%、教育器材の充実度については58%、くつろぎの空間や活動の場の充実度については38%、食堂・売店の充実度については48%、合宿施設の充実度については15%だった。

なお、「どちらかといえば不満である」「不満である」という回答に着目すると、くつろぎの空間や活動の場の充実度について(26%)と、食堂・売店の充実度について(23%)がやや多目である。

ただし、これらの項目に対する不満が相対的に高いのは、夜間主コースのある東千田キャンパスと霞キャンパスであり、キャンパス内の施設が乏しく、キャンパス周辺の施設がこれを補完している状況である。

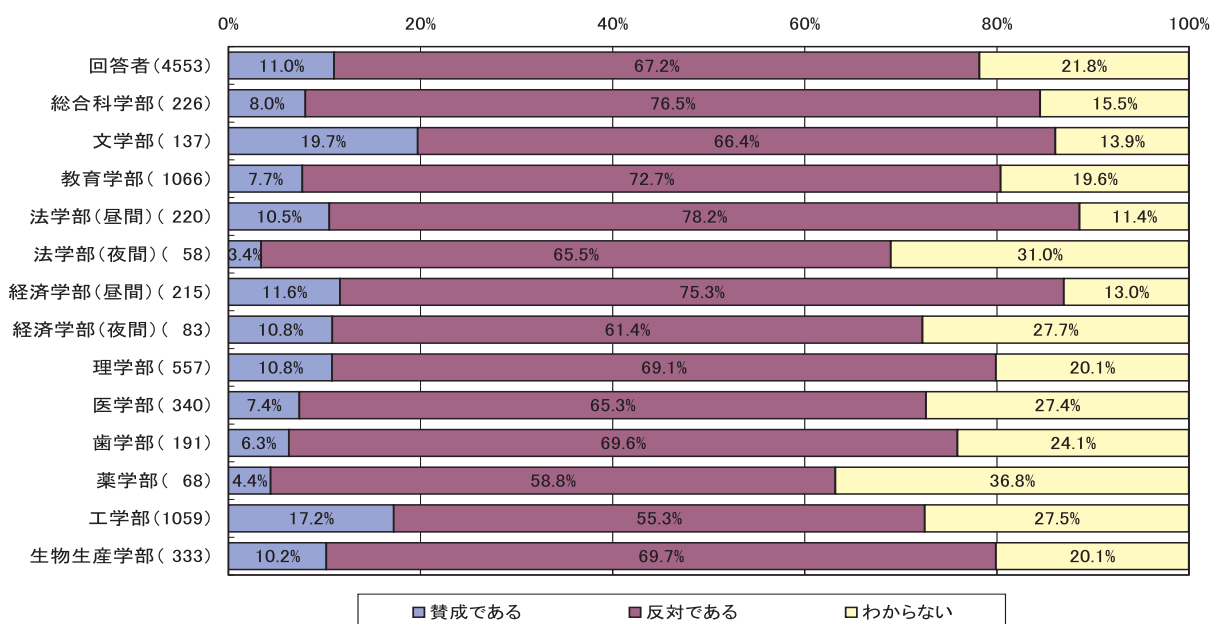
問22 あなたは、以下のような項目や施設・教育機材等についてどれくらい満足していますか。
各項目ごとに該当する数値レベルに○をつけてください。



問23 各種手続きや相談窓口を1箇所に集約することへの賛否

全体では67%が反対と表明している。部局別に見ても薬学部、工学部が50%強とやや低いものの、他はおしなべて6割～7割に達している。広島市の霞キャンパス（医学・歯学・薬学）では、かなり前から既に集約しているが、各学部から学生サービスの窓口を引きはがすことに対しては、多くの学生が反対の意思表示をしたといえる。

問23 将来、履修登録に関する相談、授業料免除や奨学金、課外活動に関することなど、学生生活に関する手続きやその相談の窓口を、東広島キャンパスでも1箇所に集中させ、各学部には窓口を設けないとすればどう思いますか。

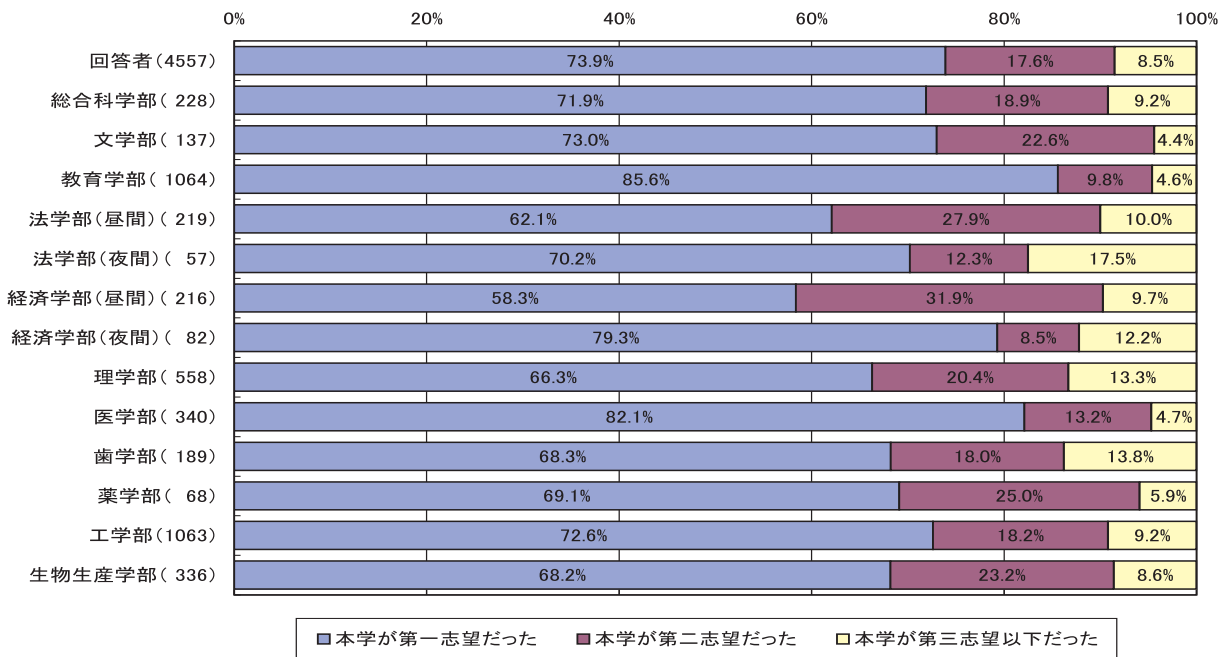


3. 進路に広島大学を選択したことについて

問24 広島大学の志望順位

全体の7割は広島大学が第1志望だと応えている。部局別では教育学部（85.6%）、医学部（82.1%）、経済学部夜間主コース（79.3%）、文学部（73%）の順に高い。

問24 大学進学の際、本学はあなたの第一希望でしたか。



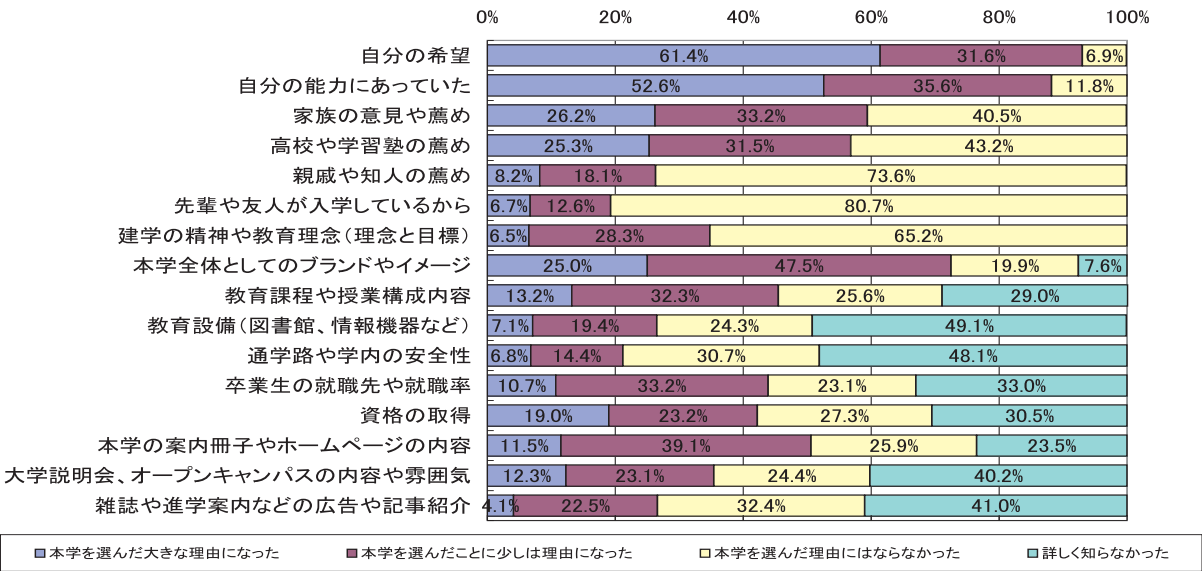
問25 進学・受験時の広島大学選択の理由

広島大学志望理由として多いのは、自分の希望（61.4%）、自分の能力と合っていたため（52.6%）の2つの順で「本学を選んだ大きな理由」として過半数の学生が選んでいる。

次いで家族の意見や勧め（26.2%）、高校や学習塾の勧め（25.3%）、大学のブランド・イメージ（25.0%）と続くが、これらを大きな理由として選ぶ学生は1/4程度であり、その他の理由になると大きな理由になっている学生は全体の10%前後しかない。

学生諸君の多くは、自身の能力に合った希望通りの大学として広島大学を受け止めてくれているようだ。

問25 あなたは進学や受験のときに、どんなことを理由に本学を選びましたか。以下の項目それぞれについて、あてはまるものを○で囲んでください。

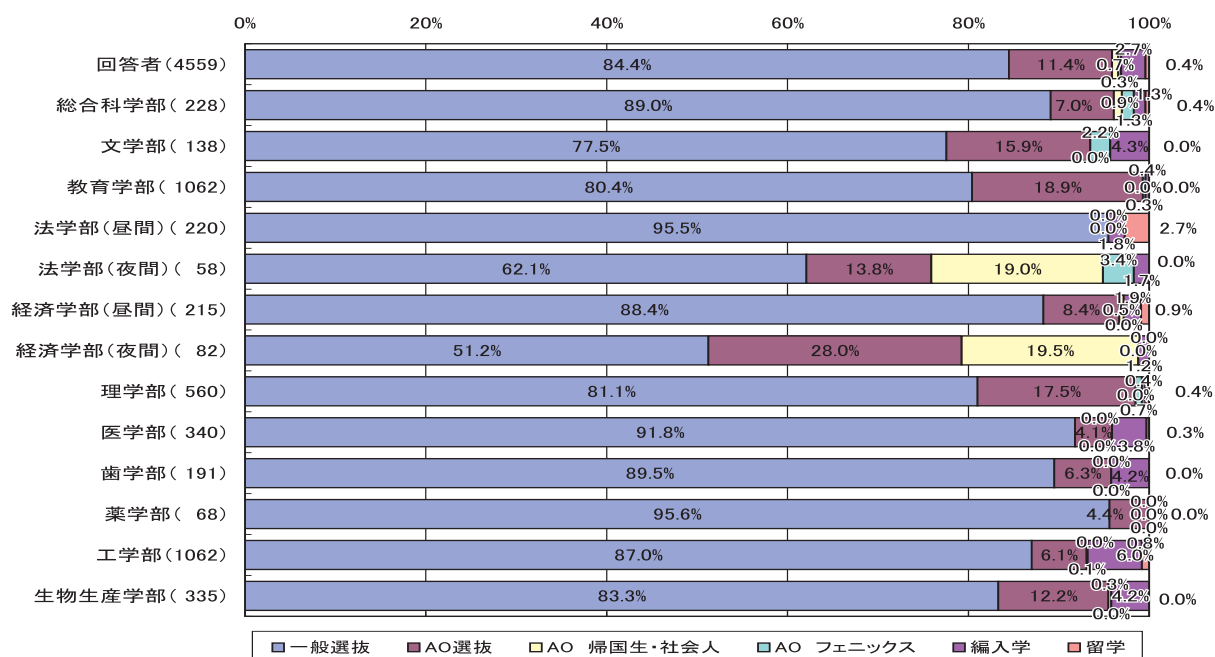


問26 入学における選抜方式

全体では一般選抜が84.4%と圧倒的に多く、AO 選抜は11.4%、AO 帰国生選抜・社会人選抜は0.7%、AO フェニックス方式は0.3%、編入学は2.7%となっている。

部局別にみると、法学部と経済学部(夜間)の一般選抜の割合が部局に比して低く、それぞれ62.1%、51.2%である。理学部が他の部局に比してやや特徴的であり、AO 選抜が17.1%と他より高い割合となっている。

問26 入学における選抜方式は何でしたか。該当するものに○をしてください。

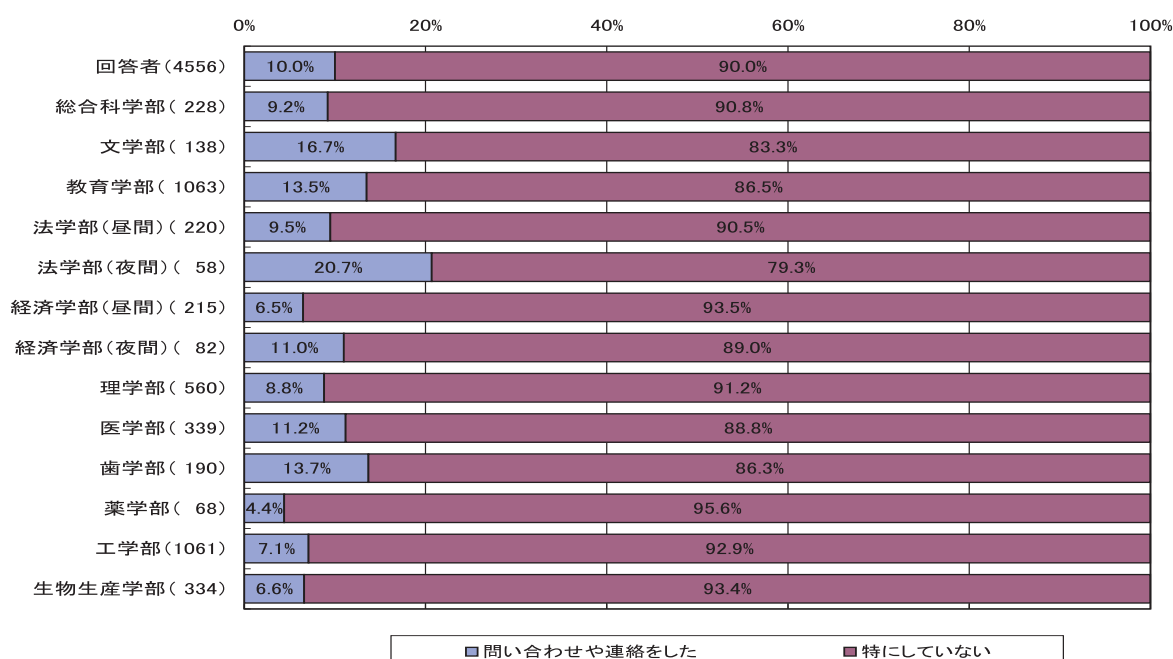


問27 受験・入学前の問い合わせ

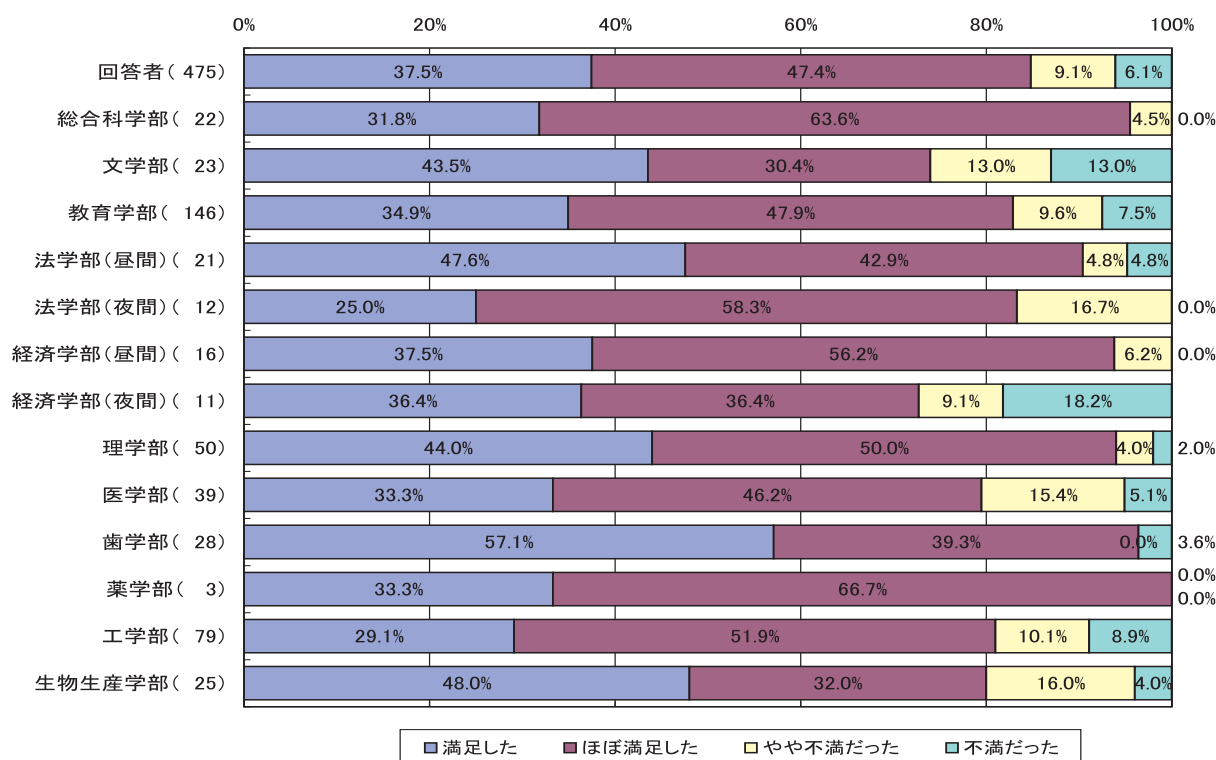
全体をみると、特にしていないと応えた者が90%で極めて高い。既に本学から必要な情報が発せられているから改めて問い合わせる必要がないのか、それとも関心の無さ故なのかは判断できないが、数字の高さには留意しておく必要がある。

さらに、問い合わせたと答えた者10%のうち、大学の対応に満足した(満足した+ほぼ満足した)者の割合は85%であり、大学の対応もまずまず、といったところか。

問27 あなたは本学の受験や入学前に、電話やeメールなどで何らかの問い合わせなどをしましたか。



問い合わせや連絡をしたと答えた方に尋ねます。その時の対応に満足しましたか。

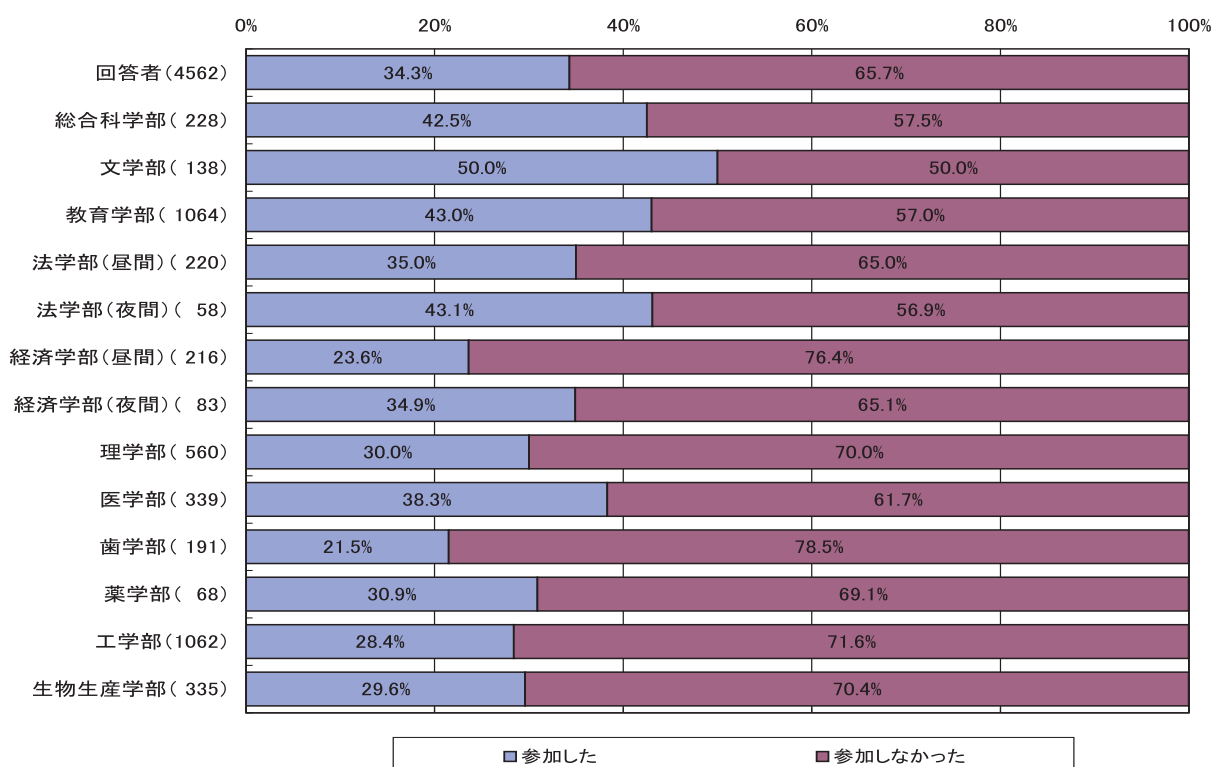


問28 オープンキャンパスへの参加

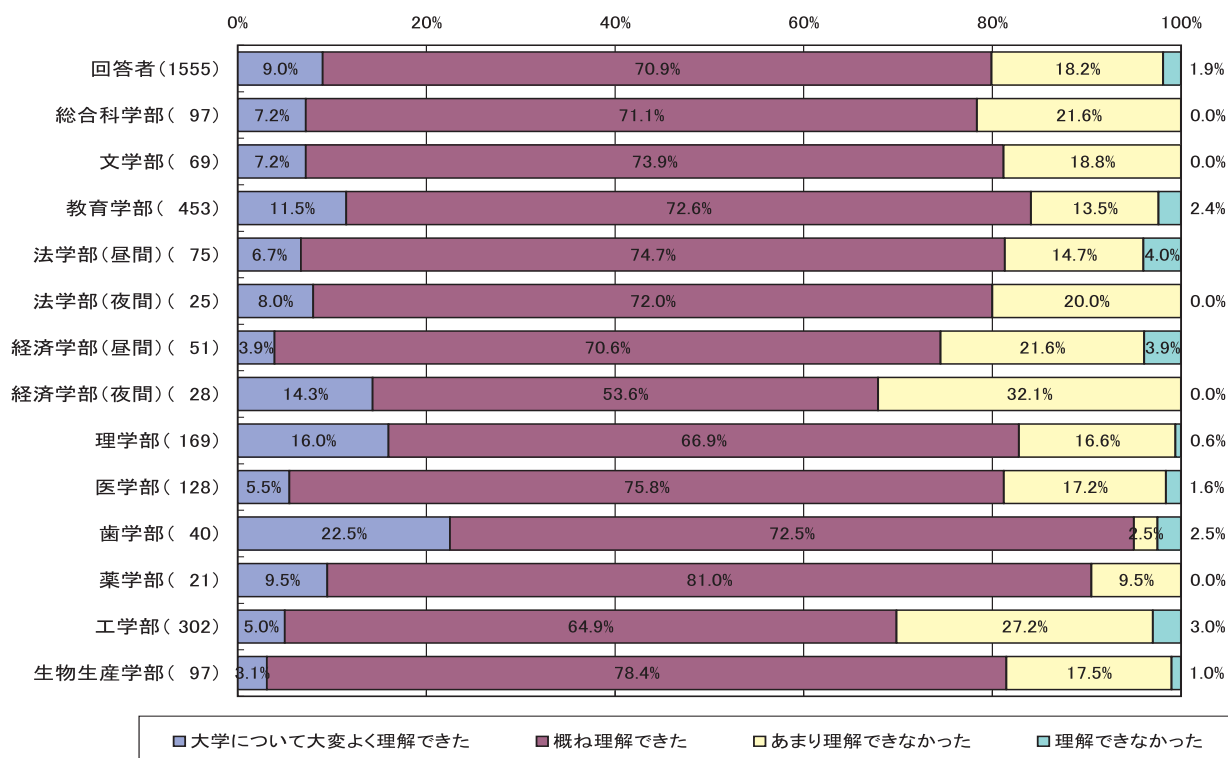
全体をみると、34.3%の学生がオープンキャンパスに参加している。部局別では、文学部（50.0%）、教育学部（43.0%）、総合科学部（42.5%）の順に多い。

3割強の参加者のうち、オープンキャンパスの説明が大変よく理解できたと答えた者は、全体の1割に満たないが、おおむね理解できたと答えた者を合わせると8割に達している。

問28 あなたは本学を受験するにあたり、大学説明会やオープンキャンパスに参加しましたか。



参加したと答えた方にお尋ねします。その時の説明は明確に理解できましたか。

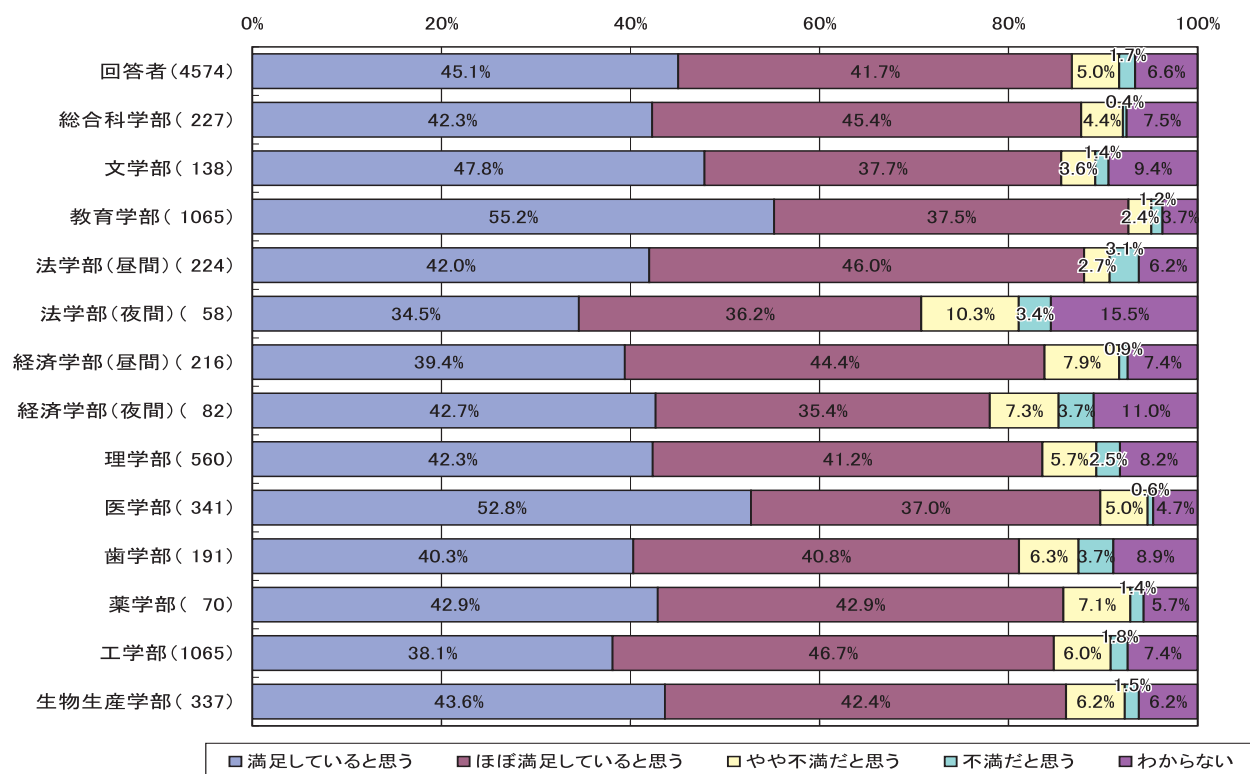


問29 広島大学への保護者の満足度

全体をみると、45.1%とほぼ半数の保護者が満足していると回答している。「ほぼ満足している」も含めると86.8%の保護者が満足している。不満（やや不満+不満）は6.7%に過ぎない。

日常や帰省時の会話における保護者の反応であればかなりの満足度といえようが、むしろ代弁者の学生をして「不満」と答えた理由が気になる。

問29 あなたの保護者は、あなたの入学後の本学に満足していると思いますか。



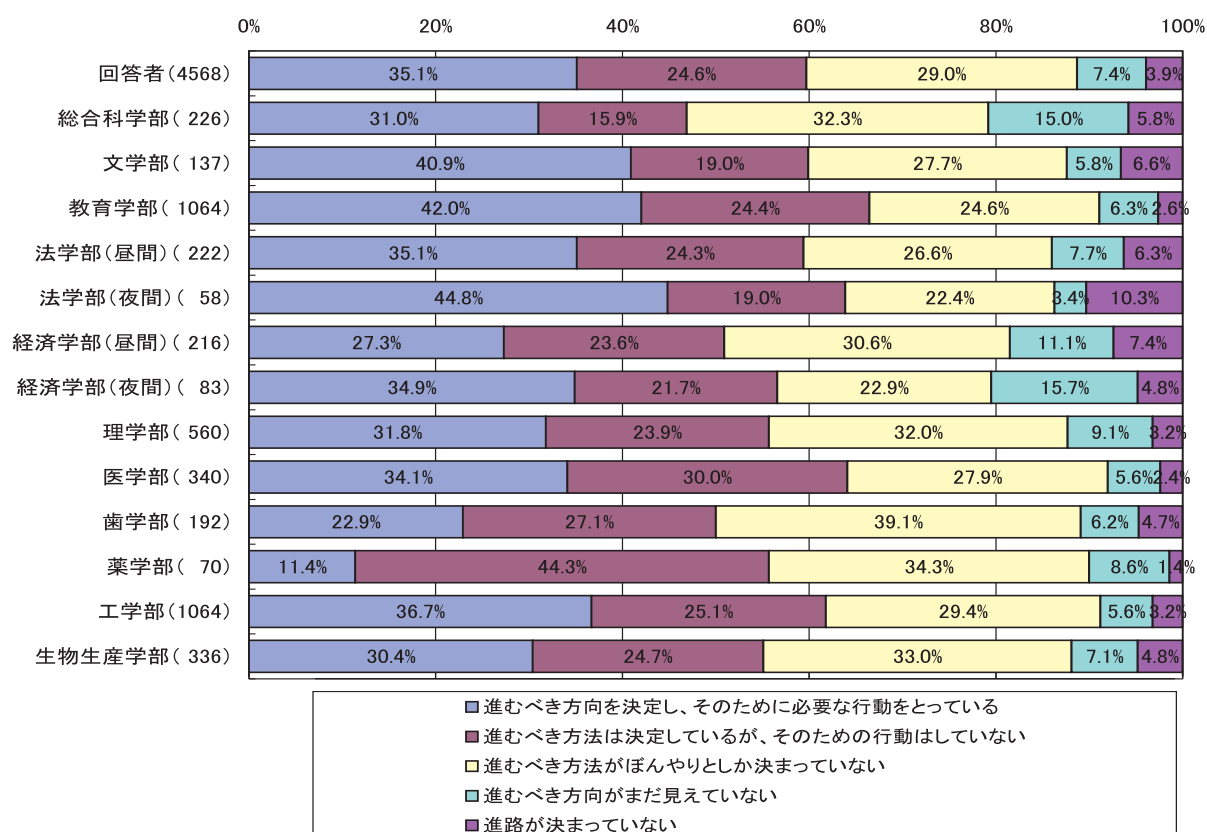
4. 自身のキャリアプランについて

問30 卒業後の進路

全体の傾向として、進むべき方向を決定し、そのために必要な行動をとっている学生は35.1%存在している。行動はしていないが進むべき方向が決定している学生は24.6%存在している。5割以上の学生は、少なくとも進路についての見通しはついていると言える。

ただし、ぼんやりとしか進むべき方向が決まっていない、方向自体が見えてない、進路が決まっていない学生が総じて40%程度と少なくない。このような学生に対して具体的なキャリアデザインを持たせる支援策を講じる必要があるだろう。

問30 あなたは、大学(学士課程)卒業後の進路について考えたり、そのための行動をしていますか。

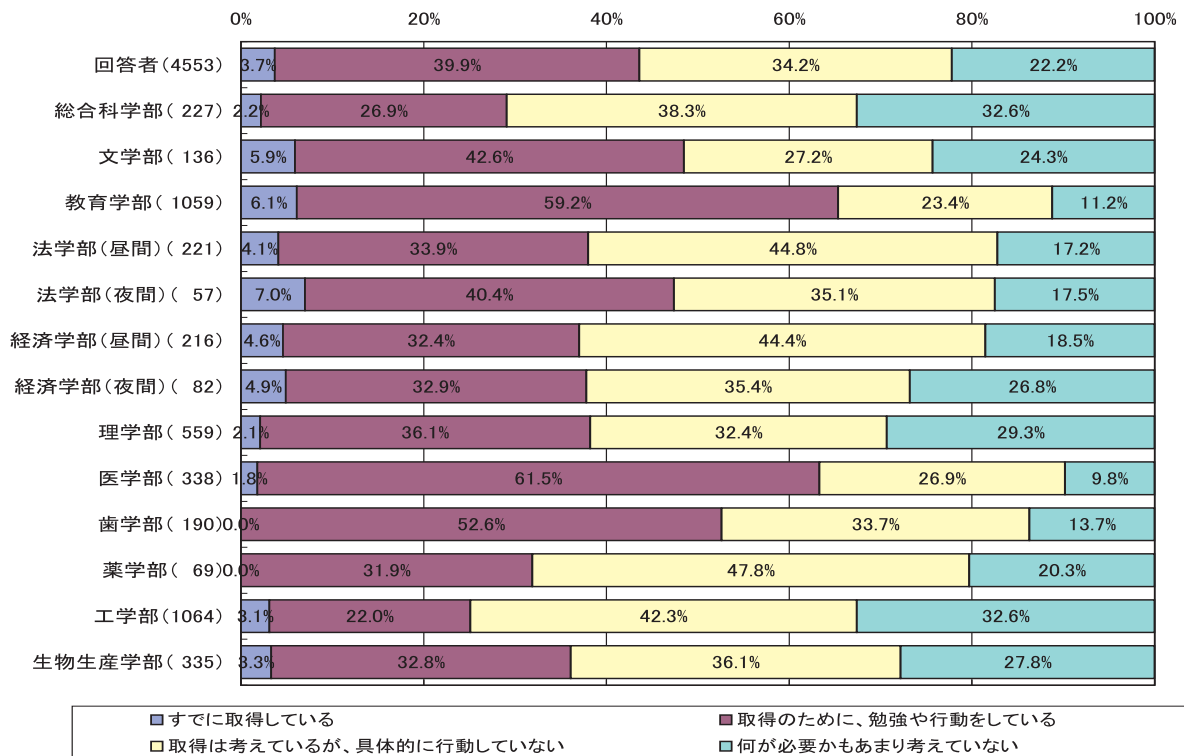


問31 資格取得への対応準備

既に取得している学生は3.7%と極端に低いが、取得のための勉強や行動をしている学生は39.9%と4割近くになる。

ところが具体的な行動に移していない、必要性について考えもしていない学生が全体の5割を越えて存在しており、専門に応じた資格取得への啓発や支援策を講ずる必要があるだろう。

問31 あなたは、学習や進路(就職含む)のために必要な資格取得についてどうしていますか。

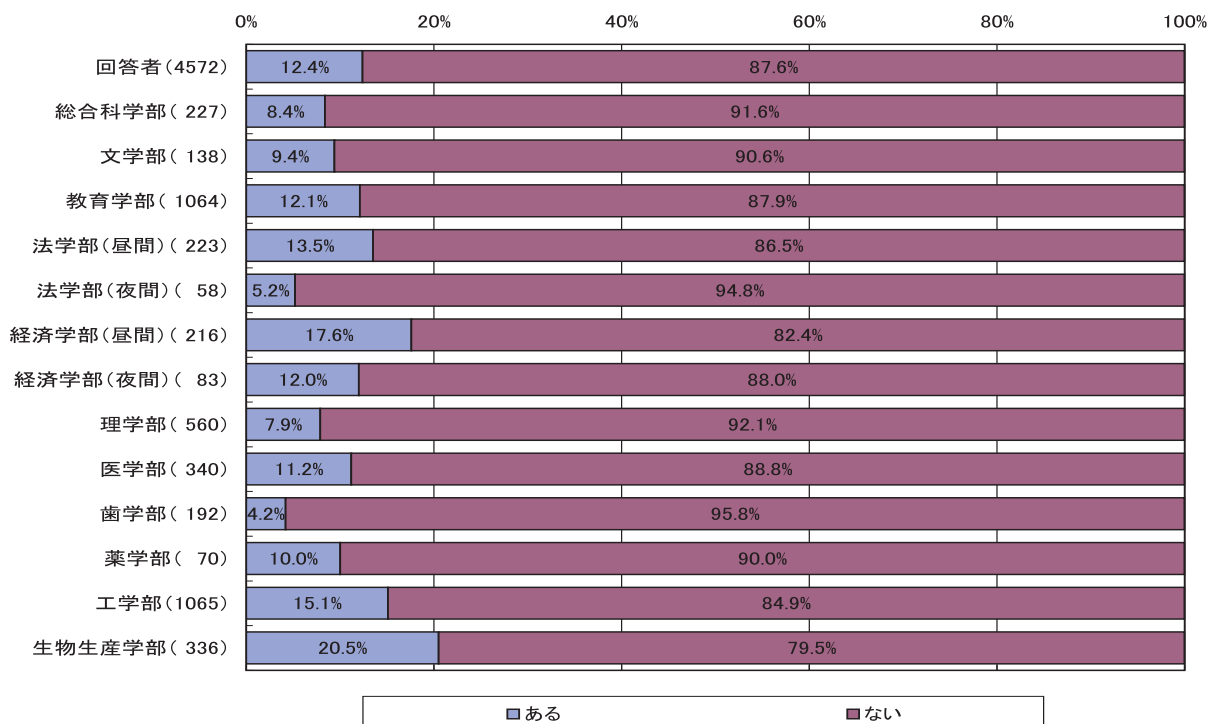


問32 インターンシップ・体験学習の体験

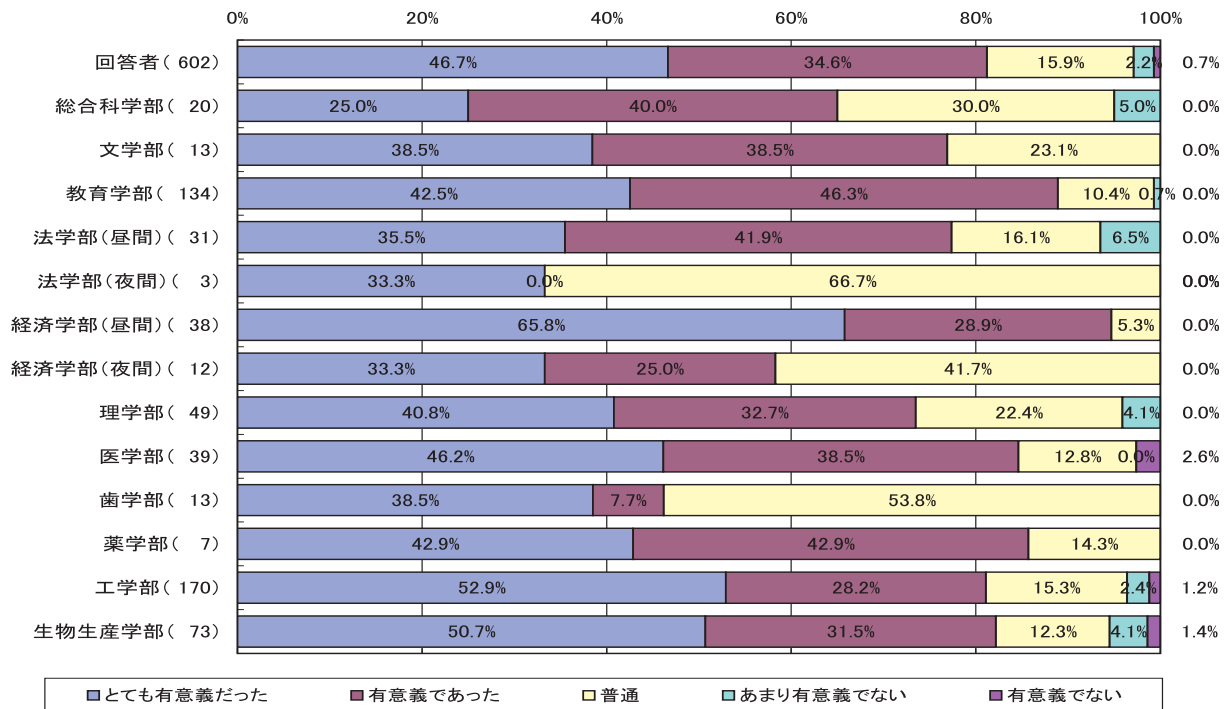
インターンシップ・体験学習を経験したことがある学生はわずかに12.4%であり、部局間でも大差ない。専門分野や学生個人のキャリアデザインに応じたインターンシップ・体験学習の機会を、大学として組織的に提供する必要性があるだろう。

なお、インターンシップ・体験学習に参加した者のうち、有意義に感じている者は全体の81.3%おり、参加をすれば得るものが必ずあることが伺える。とにかく参加割合を上げるための方策を考える必要があるだろう。

問32 あなたは、インターンシップ・体験学習等を体験したことがありますか。



あとと答えた方に尋ねます。インターンシップ・体験学習等は有意義でしたか。



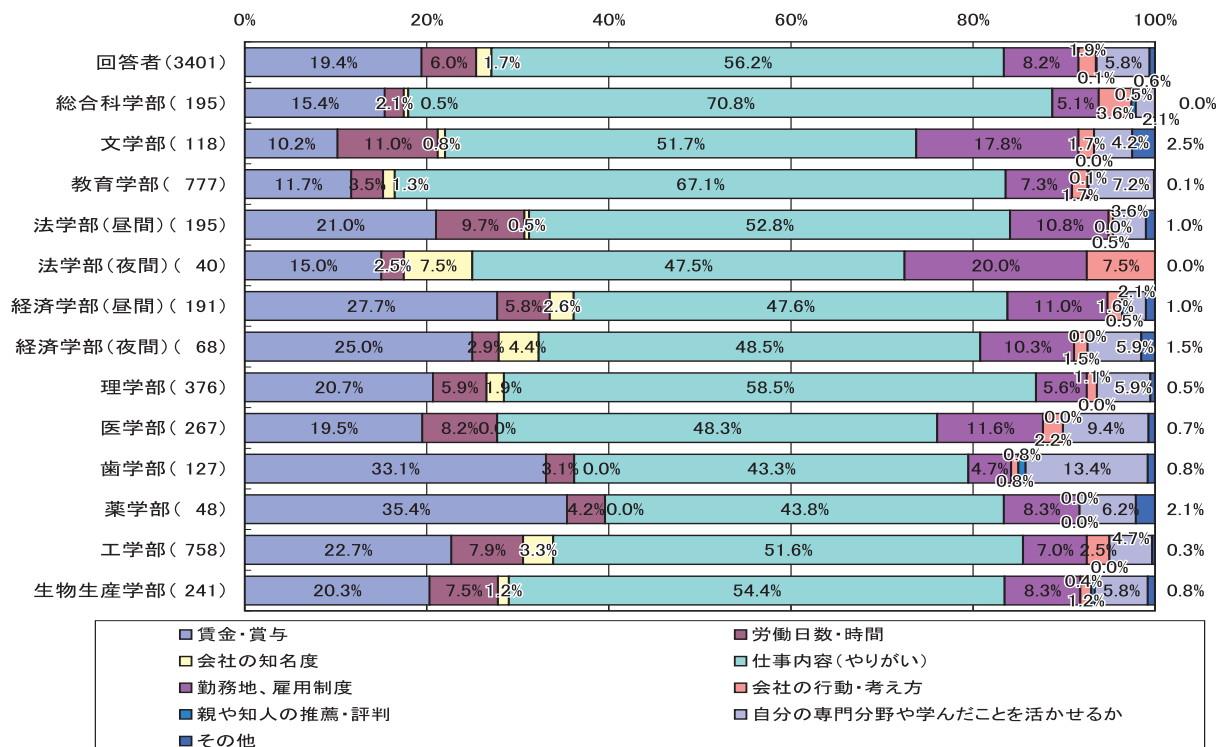
5. 就職を検討している学生への質問

問33 就職先を選ぶ際に重視すること

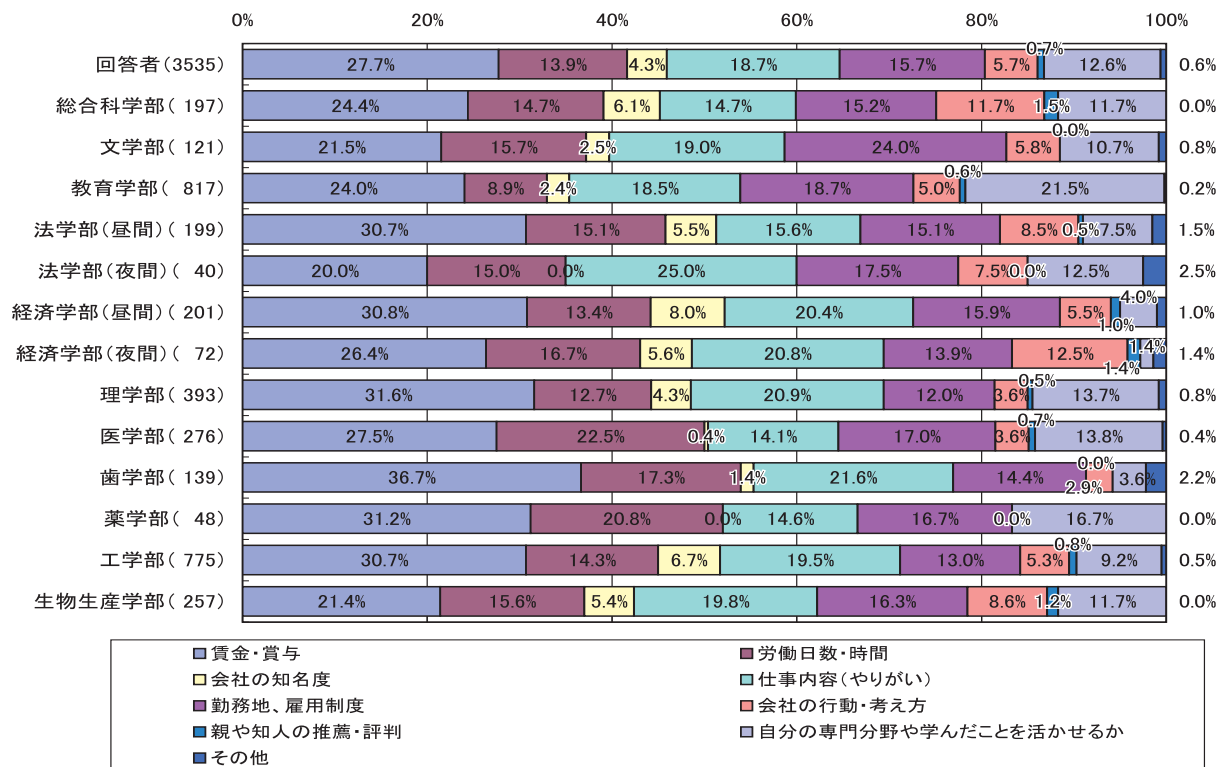
就職先を選ぶ際に、最も重要な要素として仕事内容（やりがい）をあげる者が最も多く56.2%と過半数である。以下はいずれも20%を下回り、就職する際に仕事内容（やりがい）がいかに重要な判断となるかがわかる。

大学としては、在学中にやりがいのある仕事を見つけられるような支援をどこまでできるかを検討する必要があるだろう。

問33 就職先を選ぶ際、最も重視する要素は何ですか。



就職先を選ぶ際、2番目に重視する要素は何ですか。



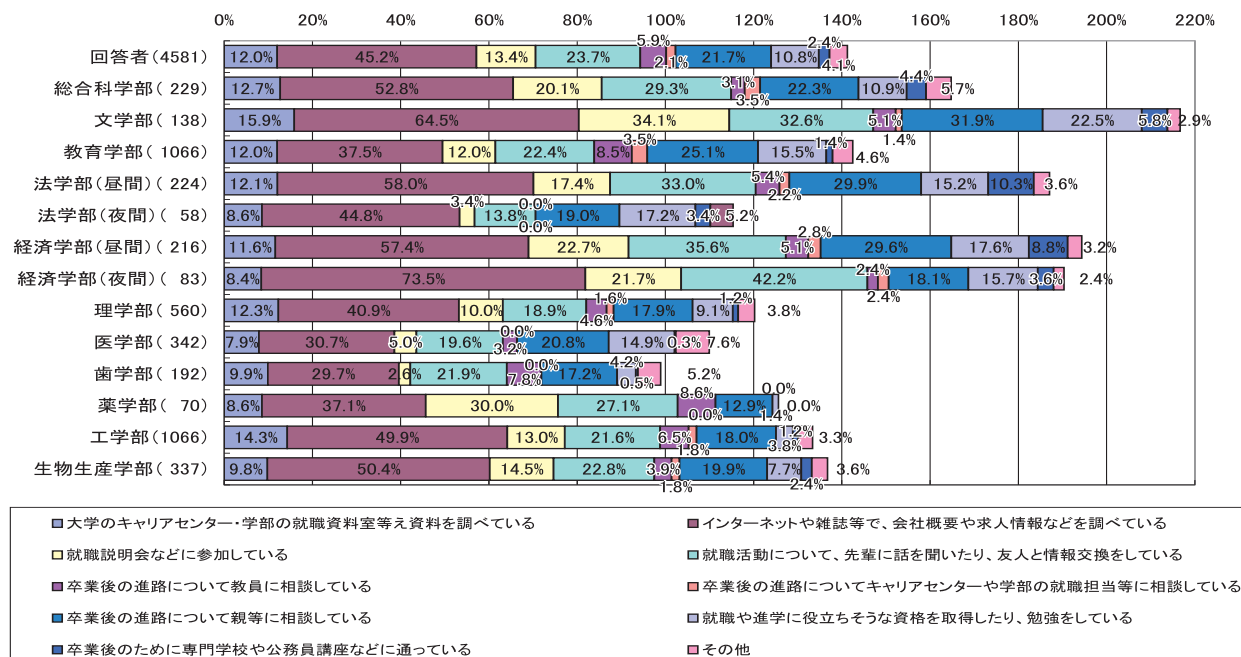
問34 会社情報の入手手段

会社情報の入手手段として最も利用度の高いのはインターネットであり、全体の45.2%が利用している。次いで利用度の高いのは、先輩・友人(23.7%)、親(21.7%)であるが、インターネットの利用度の半数程度であり、現在の情報収集ルートそしてインターネットがいかに重要な手段かがわかる。

学内のキャリアセンター・学部資料室の利用度は12%、卒業後の進路相談をキャリアセンターや学部の就職担当に相談している者は2.1%、教員に相談しているものは5.9%と極端に低い。

ただし、この数字を根拠に学生サービスを一元化するなどの効率策に走るのは適当でない。先の問23で、学生サービス窓口の集約化案に対し、明確な反対が2/3あったことや、公共機関としての大学がサービスを公平に行う使命がある点を十分に踏まえた上での対応が必要である。

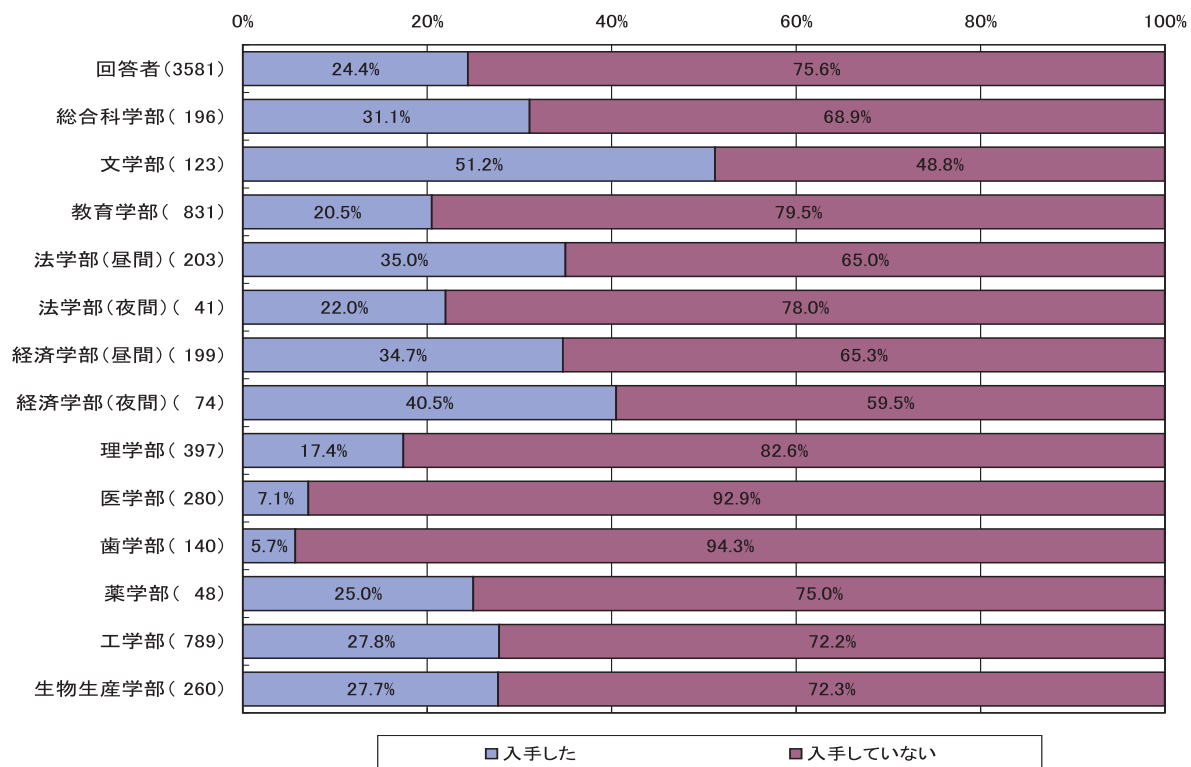
問34 あなたは、会社等の情報をどのような手段で入手していますか。(複数回答可)



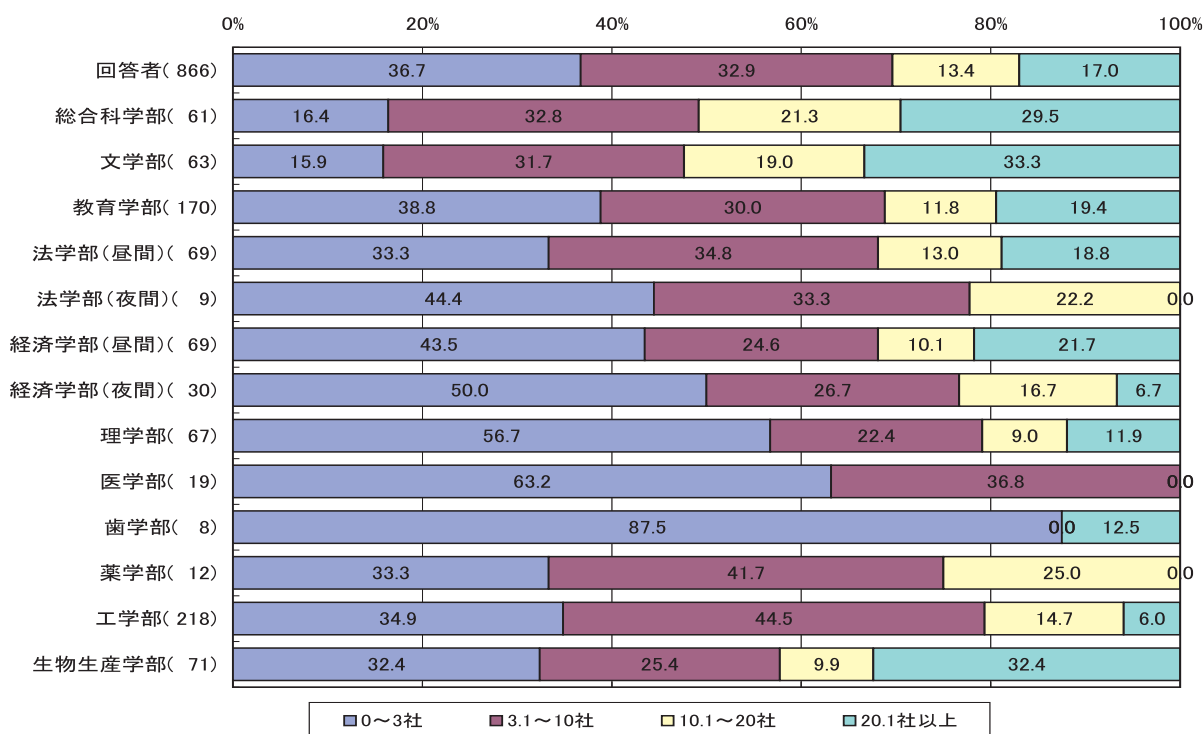
問35 会社や官公庁の情報入手

75.6%の学生が、会社や官公庁の情報を入手していないと答えている。この数値は学年により異なってくるので、学年別の分析あるいは、キャリアセンターが実施している同趣旨のデータを参照すると良いであろう。

問35 あなたは、今までに会社や官公庁の情報をどれくらい入手しましたか。



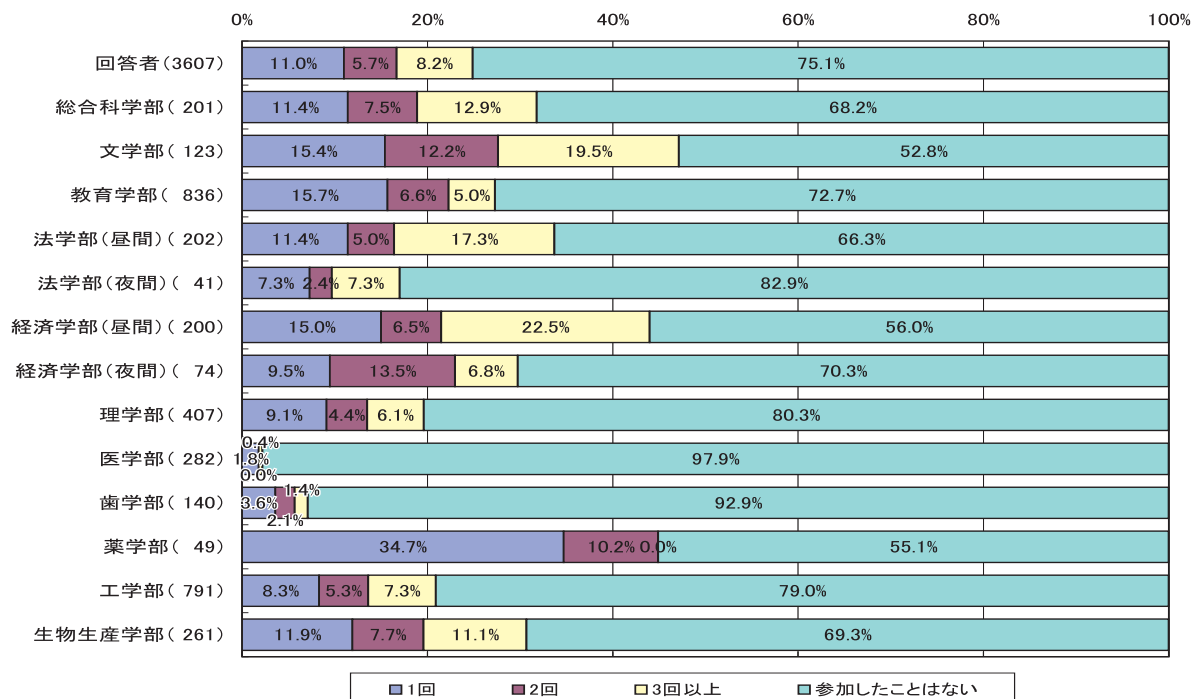
入手した会社数



問36 大学主催の就職ガイダンスへの参加状況

75.1%の学生が、就職ガイダンスへ参加したことがないと答えている。この数値は、学年に応じて異なってくることが予想されるので、さらなる分析が必要であろう。(※学年別のクロス表分析が必要)

問36 あなたは、今までに大学主催の就職ガイダンスに何回参加しましたか。

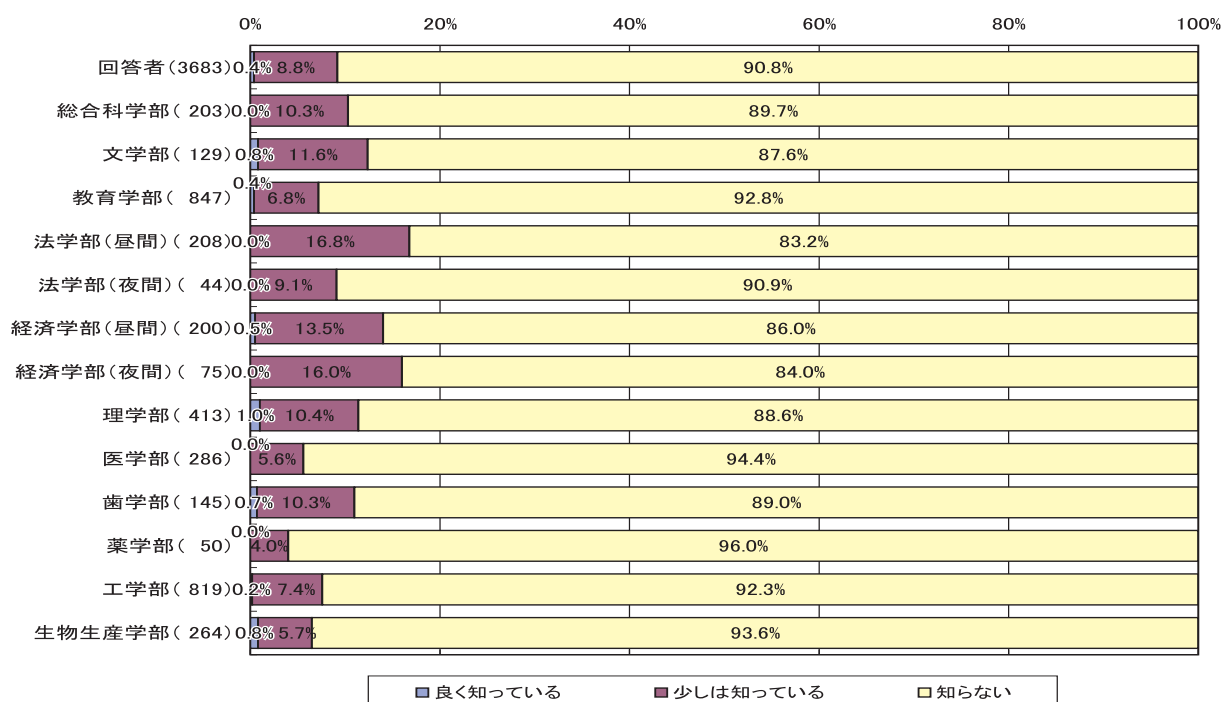


6. そのほか

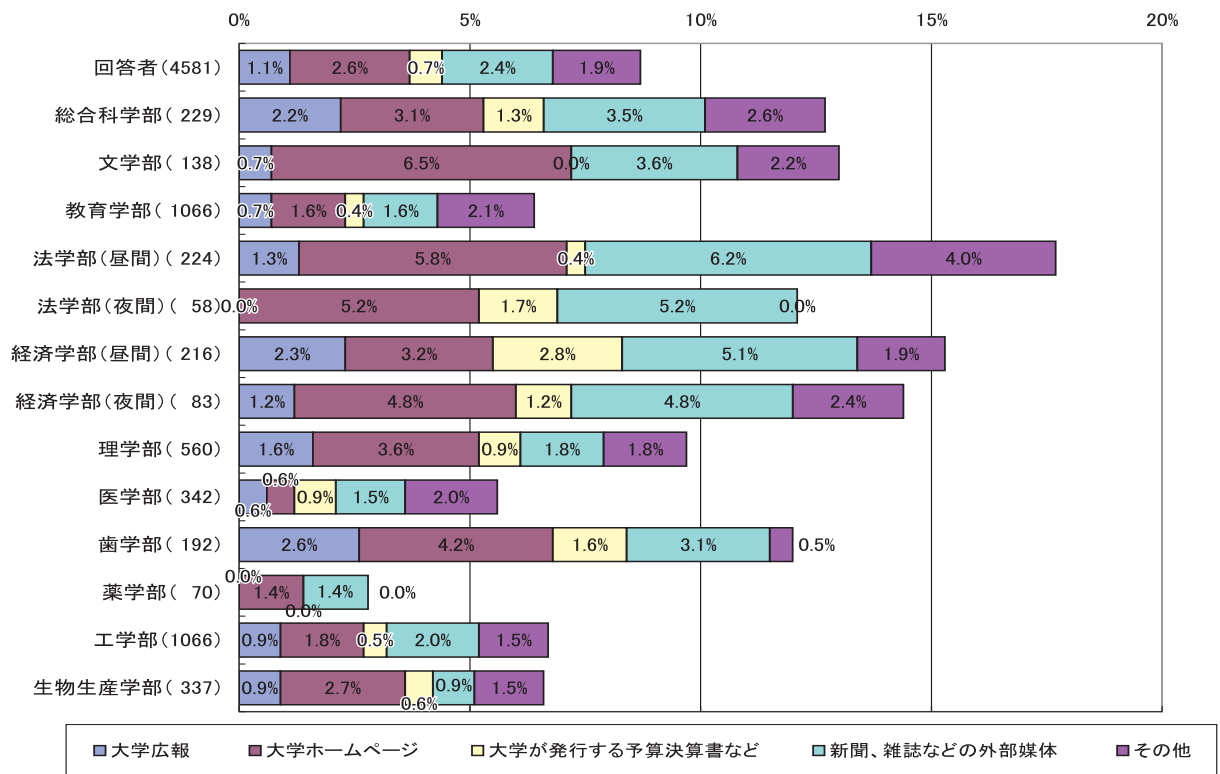
問37 大学の財政状況に関する認知状況

90.8%の学生が大学の財政状況を知らないと答えている。どの学部でも大差はない。大多数9割がこの情報に触れていないとなれば、広報や情報提供の領域での工夫が必要である。

問37 あなたは本学の財政(経営)状況について、見たり聞いたりしていますか。



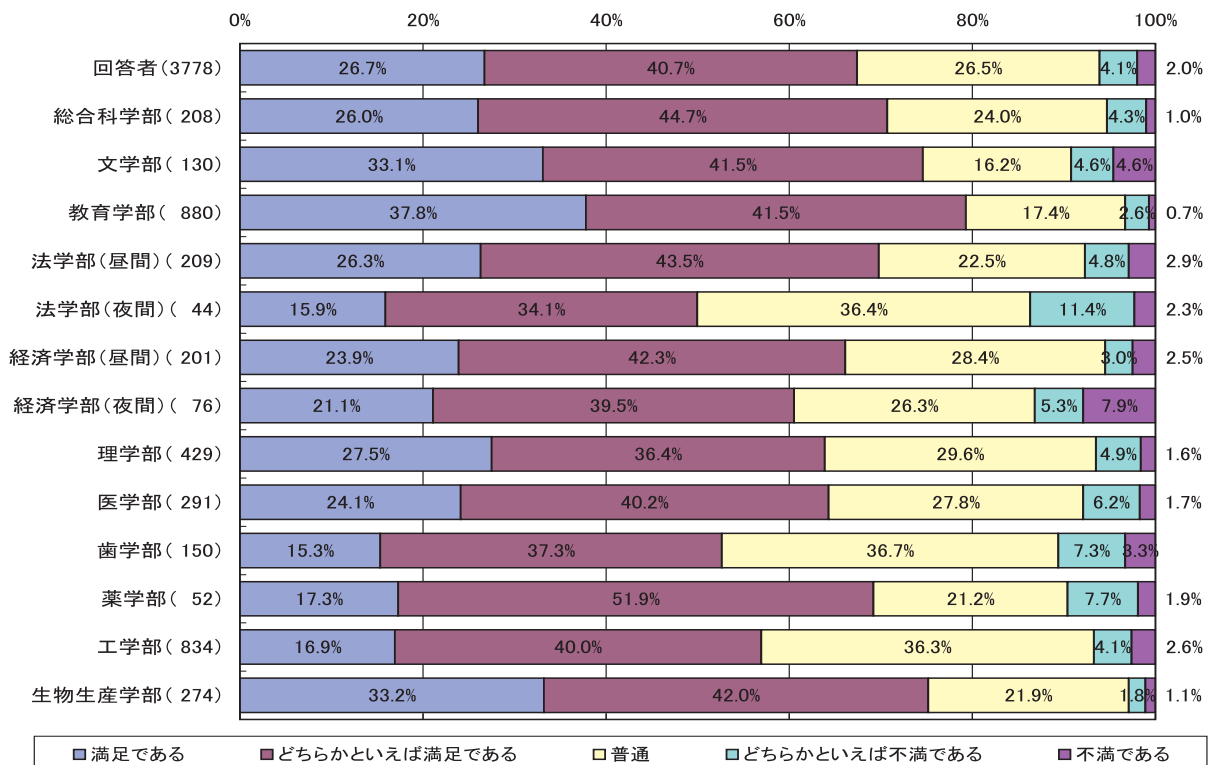
よく知っている・知っていると答えた方に尋ねます。何で知りましたか。(複数回答可)



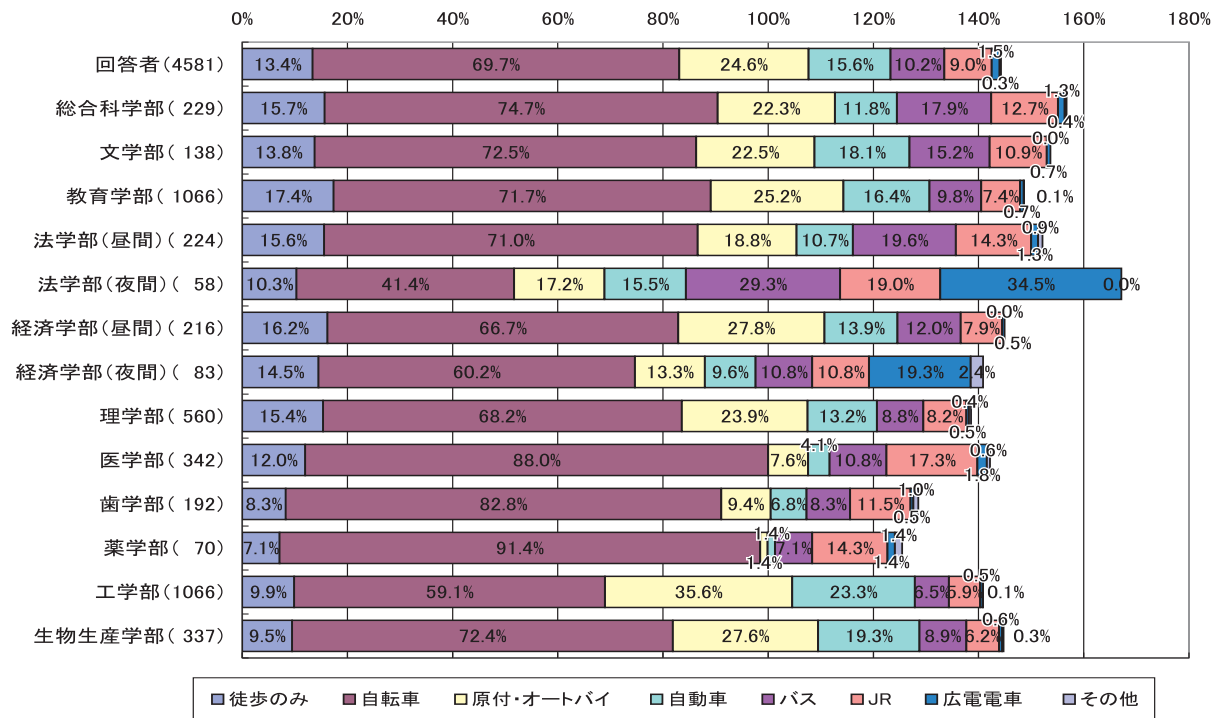
問38 大学生活への全体的な満足度

満足だと答えている者は全体の1/4程度であり、「どちらかと言えば満足」も含めると66.7%の学生が満足だと答えている。普通と答えている者が1/4、不満を感じている者は6.1%である。総じて広大での教育・学習、学生生活は問題ない、と言えよう。

問38 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良い」、「楽しい」と感じるなど、満足していますか。



通学方法 利用しているもの(複数ある場合はすべて)に○をしてください。



学生生活実態調査対象学部生数

学生数 = 2008. 5. 1 現在

学 部	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
総合科学部	131	142	151	175			599
文学部	147	143	161	197			648
教育学部	525	524	530	605			2,184
法学部	152	152	157	175			636
経済学部	158	154	165	187			664
法学部夜間主コース	42	39	59	80			220
経済学部夜間主コース	69	59	71	104			303
理学部	245	253	253	323			1,074
医学部	233	229	240	249	99	116	1,166
歯学部	99	96	101	100	59	67	522
薬学部	61	61	66	75			263
工学部	532	526	572	709			2,339
生物生産学部	107	102	116	134			459
計	2,501	2,480	2,642	3,113	158	183	11,077